



## NST・地域医療連携室共同スキルアップ研修会開催

今回で3回目の共同研修会を平成24年5月17日(木)に開催しました。今回の研修会は平成23年3月に計画して東日本大震災により延期になっていた、みやぎ県南中核病院リハビリテーション科長瀬田拓先生の「嚥下障害の評価法(VF)・嚥下障害の適切な食事形態の判断・嚥下障害の嚥下時の適切な姿勢の判断」を実施しました。参加者数は院外13施設26名、院内79名で合計105名でした。

嚥下障害の評価法(VF)では、動画を含めて解説していただきとても理解できたと思います。食事形態では、低下した咀嚼嚥下機能に対応した食事、低下した体力・筋持久力に対応した食事、低下した認知機能に対応した食事等一つ一つわかりやすく話していただきました。適切な姿勢に関しては、安楽な見た目が楽そうな姿勢と言われ再認識しました。

最後に質疑応答の時間で瀬田先生より、仙南地域では地域でのネットワークができていくことがわかりました。栗原でも地域ネットワークがあって一緒にいろいろな事に取り組みたいと強く思いました。

栄養管理室長 伊藤義博



## 地域医療連携室学術講演会

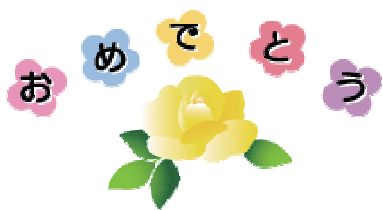
日頃より、医療連携におきましては多大なるご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

6月19日に開催いたしました学術講演会「内部障害とリハビリテーション」には、お忙しい中103名というたくさんの皆様のご参加をいただき、心より御礼申し上げます。アンケートにご回答いただきました方々の職種別内訳は、医師10名、看護師28名、介護支援相談員14名、理学療法士11名、作業療法士6名、栄養士2名、事務1名、社会福祉士2名でした。このように、他職種の皆様が一堂に会し勉強する機会を持てたことは、地域医療の充実にとって効果的であったと考えます。

今回の講演は、東北大学大学院内部障害学分野教授上月正博先生のご講話でした。

従来のリハビリテーションは、「疾患罹患後の廃用症候群の回復」というイメージが強かったのですが、上月先生は「生命予後の改善、機能予後の改善、QOLや不安・うつ改善などへの効果を期待した危険因子の軽減による攻めの医療」がこれからのリハビリの概念であるとおっしゃっていました。たとえば、心臓機能の障害、慢性腎不全などの患者に対しても、安静の保持ではなく、的確な評価のうえで、積極的にリハビリを行うことでQOLの向上のみならず寿命延長も期待できるということでした。これまでのリハビリという概念を大きく変える講演でした。

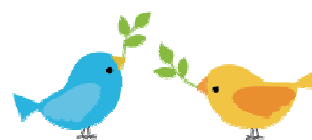
今後も、地域医療連携に関わる皆様とともに、地域医療の向上のために学習する場を提供してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。  
地域医療連携室長 千葉由美子



2012年4月1日付けで、放射線科の千葉崇宏主任診療放射線技師が社団法人日本超音波医学会『超音波検査士』に認定されました。また、吉田礼診療放射線技師は、日本磁気共鳴専門技術者認定機構『磁気共鳴専門技術者』に認定されました。

## 編集後記

まだまだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。さて、当院は、多くの人に支えられ7月で10周年を迎えることができました。この節目にあたり、病院の理念、基本方針にそった医療を考え、行動できる職員の一でありたいと改めて思うこの頃です。 S



栗原市立栗原中央病院

広報誌

編集：広報委員会、地域医療連携室

平成24年8月発行

第43号



### 病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

### 基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



## 10周年を迎える

この7月で栗原中央病院は開院10周年を迎えることができました。これまでこの病院を支えていただきましたみなさまに、職員一同心から感謝申し上げます。7月2日の開院10周年記念式典には佐藤勇市長・病院開設者、小泉勝病院事業管理者の挨拶に引き続きまして、佐藤千昭市議会議長さんと平田徹栗原市医師会会長さんにご祝辞をいただきました。また多数の市議会議員さんや医師会の役員さんのご参加をいただき、10周年にふさわしい式典になったと思います。といっても、栗原中央病院としては、10年というのは単なる通過点であり、重要なことはこれから先のことであると思います。人間で10歳といえば育ち盛り、伸びざかりであります。栗原中央病院もまさに伸びざかりであります。

開院10周年記念式典では東北大学副学長・病院長の下瀬川徹先生に記念講演をいただきました。東北大学病院が果たそうとしている役割のなかに地域医療の再生、振興ということがしっかりと位置づけられていることを理解することができまして、気持ちを新たにすることができました。これからは地域医療において、栗原中央病院が相応の役割を果たしていく使命があるということに思いを強くしております。また、そのためにはたくさんの地域の力を結集して、地域医療に当たる必要があるのだということを再度確認するこ

### 院長 小林 光樹

とができました。栗原中央病院も求心力を持つような努力が求められているのではないかと思いますし、魅力ある人たち、魅力ある職場環境、魅力ある診療内容を将来にわたり維持し続けていくことで、地域との連携をさらに強めていきたいと思っております。お互いの連携の中で、新たな課題がどんどん生まれそれが克服されていくことだろうという、極めて楽観的な将来像を描いているところです。

栗原市民から愛され支えられる病院を目指して、精進していきますので、これからもどうぞよろしくお付き合いの程をお願いします。

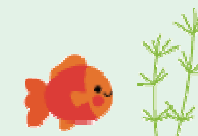


〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院(代表) TEL: 0228-21-5330 FAX: 0228-21-5350

URL: <http://www.kam.or.jp/>

地域医療連携室(直通) TEL: 0228-21-5335 FAX: 0228-21-5336




## 部署紹介

# 手術室

看護師長 後藤 由美子

手術室では『患者様のいのちを大切にする』という病院の理念に基づき、手術を受けられる患者様の不安を最小限に安心して手術が受けられる様に、杉山公利手術室長を中心に12名(麻酔科医師2名・看護師長・副看護師長・看護師7名・臨床工学技士1名)で日々の手術に取り組んでいます。

手術室の取り組みの紹介として、手術予定の患者様(局麻以外)に対し、麻酔科医師・看護師が手術前訪問し、事前に患者様とお会いする事で手術室のスタッフの顔を知ってもらい、お話を聞く事で不安などにお答えし安心して手術に臨んでいただけたらという思いで実施しています。また、患者様の誤



認防止のため入室時には、名前と生年月日を名乗って頂き看護師と電子カルテによる患者認証、さらに手術開始前には「タイムアウト」を取り入れています。「タイムアウト」は、主治医・麻酔科医師・担当看護師で「正しい患者様・正しい手術部位・正しい術式」の3点について確認を行うことで、患者様の安全を守るために重要な確認であると認識し実施しています。

また、地域の医院の先生方からの紹介による緊急手術も多くあり、『緊急時こそスタッフ全員心を一つに！』患者様が安全に手術を受けられる様に考え、行動できるように常に心がけています。

## 病院機能評価Ver6.受審にむけて

総務課長 小松 弘幸

平成19年に初めて病院機能評価を受審しVer.5の認定を得ましたが、認定証の有効期間が平成25年4月で満了になるため、来年1月にVer.6の認定更新を予定しています。

前回は15ヶ月程度の準備期間を設けたようでしたが、今回は、電子カルテの導入準備などがあったため、受審のための組織の立ち上げが3月と出遅れてしまいました。そのため、受審までの期間は約10ヶ月と短く不安に感じていますが、現在、各部署の主任クラスで設置した委員会において、調査項目に対する現状分析や対応策などの作業に取り組んでいる最中です。

“医療はサッカー”だという言葉を目にしたことがあります。それぞれが専門性を発揮するのは当然ですが、チャンスボールがきた時はディフェンダーもシュートを放ち、ピンチの時はフォワードも守備に回る。

皆でそのスペースを埋めなければチームの勝利としての「良い医療」はあり得ないとする考え方のようです。

病院機能評価の受審目的は、日頃提供している医療が一定の基準を保っているか、適切であるかを第三者から客観的に評価していただくことですが、部門や職種の壁を取り払った準備活動を行うことで病院機能の改善だけでなく、組織の活性化や医療の質に対する職員の意識向上といった効果をも期待するものです。

Ver.6の受審を乗り切るために、一人の百歩より、百人の一步”の体制で認定に漕ぎ着けられればと思っています。



### ★共同診療ベッドについて

登録医として登録いただいている先生方(かかりつけ医)のご紹介で入院された患者様を紹介して下さった先生と当院の医師が共同で診療を行う体制と病床を用意しております。当院退院後は、かかりつけ医のもとで、再び診療を継続していただくシステムです。外科系2床、内科系4床ありますので、どうぞご利用ください。

### ★登録医制度について

栗原市立栗原中央病院と地域医療機関、地域医療を担っておられる先生方と相互に緊密な連携を図ることを目的に、登録医制度を設けています。登録医の先生方には、栗原中央病院の広報誌やお知らせ・研修その他のご案内をお送りさせていただいています。

※ご利用の際は、地域医療連携室へお問合せください

## 学会・研修会・論文発表



☆肝胆膵 2012.6 Vol.64 No.6 Jun.2012 アークメディア P.927-931

特集 膵炎の診断基準・診療ガイドライン改訂とValidation

『膵癌の危険因子としての慢性膵炎の特徴』…佐藤晃彦, 小泉 勝

☆Digestive Disease Week2012 2012.5.18 - 5.25 -San Diego,U.S.A-

New Approaches to Pancreatic-Biliary Disease

『Short-term Endoscopic Nasobiliary Drainage after Endoscopic Removal of Common Bile Duct Stones Reduces the Recurrence of Biliary Stones』…Akihiko SATOH, Shuuichi SATO, Hidetomo KONISHI, Takashi ARAI, Mami KIDA, Kaori FUSE, Koju KOBAYASHI, Masaru KOIZUMI.

☆第10回日本ヘルニア学会学術集会 2012.4.27~2012.4.28 -愛知県-

『Bard Ventralex と Bard Soft mesh を用いて修復した再発ポートサイトヘルニアの1例』…名久井雅樹、中鉢誠司、大橋裕介、中川 有、高橋宏和、内田 孝(栗原市立栗原中央病院外科)

☆日本超音波医学会 第85回学術集会 2012.5.25-27 -東京都-

『胆管拡張を伴う肝嚢胞例の検討』…放射線科 ○千葉崇宏, 引地健生, 臨床検査科 佐藤徳吉,

内科 木田真美, 佐藤修一, 秋田組合総合病院 臨床検査科 大山葉子,

市立横手病院 消化器内科 長沼裕子, 秋田赤十字病院 超音波センター 石田秀明

☆第68回日本放射線技術学会総会学術大会 2012.4.12~2012.4.15 -神奈川県-

『スライスプロファイル法による3D撮像の解像特性の検討』…吉田 礼<sup>1,2</sup>, 小倉隆英<sup>1</sup>, 田村 元<sup>1</sup>, 森 一生<sup>1</sup>, 引地健生<sup>2</sup>, 町田好男<sup>1</sup>(東北大学大学院医学系研究科保健学専攻<sup>1</sup>, 栗原市立栗原中央病院<sup>2</sup>)

☆第31回食事療法学会 2012.3.10~2012.3.11 -東京都-

『緊急時にいかに対応するか』…伊藤義博

☆宮城県医師会報 2012.2 P.111 地域のページ

『3.11 原発震災に思う』…内田 孝(前副院長 栗原市医師会理事)

## 平成23年度診療の実績

### ◎手術実施状況

(単位:人)

区分	全身麻酔				腰椎麻酔			局所麻酔						合計	
	外	皮	整	計	外	整	計	外	泌	眼	皮	内	整		計
4月	26	0	24	50	0	4	4	0	1	13	0	0	1	15	69
5月	14	0	15	29	1	7	8	5	0	13	1	0	4	23	60
6月	32	1	22	55	2	3	5	0	0	23	1	0	8	32	92
7月	30	0	15	45	0	5	5	2	0	15	2	0	2	21	71
8月	26	4	22	52	0	9	9	3	0	21	3	0	2	29	90
9月	29	2	12	43	0	5	5	0	0	19	1	0	3	23	71
10月	25	0	16	41	0	13	13	1	0	19	4	1	2	27	81
11月	23	0	26	49	1	5	6	1	0	12	3	0	4	20	75
12月	24	0	17	41	1	7	8	2	0	15	4	0	5	26	75
1月	25	4	19	48	1	10	11	1	0	24	2	0	3	30	89
2月	20	0	14	34	0	5	5	3	0	22	2	0	2	29	68
3月	27	2	12	41	0	6	6	2	0	24	2	1	6	35	82
合計	301	13	214	528	6	79	85	20	1	220	25	2	42	310	923

### ◎内視鏡検査等状況

(単位:人)

	上部消化管				下部消化管		ERCP 関連	超音波 内視鏡 EUS	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペク トミー他			
合計	1,919	76	45	42	964	167	215	0	3,428